

会 議 録

会議名	平成 28 年度 第 1 回福生市環境審議会	
日 時	平成 28 年 7 月 22 日（金）午後 2 時～ 3 時 20 分	
場 所	福生市役所第 2 棟 4 階 議会会議室	
出席者	委員等	小倉会長、祖父江副会長、杉森委員、横田委員、田村委員、畠瀬委員、千葉委員
	事務局	北村生活環境部長、中島環境課長、名取環境係長、菊地主査
欠席者	山下委員、野村委員	
議 題	<p>議事</p> <p>(1) 福生市環境基本計画実行計画（平成 27 年度実行計画進捗状況）について</p> <p>(2) 福生市環境基本計画実行計画（平成 28 年度実行計画）について</p>	
公開・非公開の別	公開	
配布資料	<p>① 福生市環境審議会委員名簿</p> <p>② 平成 27 年度福生市環境基本計画実行計画評価一覧</p> <p>③ 福生市環境基本計画実行計画（平成 27 年度実行計画進捗状況）</p> <p>④ 福生市環境基本計画実行計画（平成 28 年度実行計画）</p> <p>⑤ 福生市環境基本計画第 2 期中期実施計画</p> <p>⑥ 福生市環境基本計画第 2 期中期実施計画【概要版】</p>	
会議内容	<p>1 部長挨拶</p> <p>2 会長挨拶</p> <p>3 議事</p> <p>議案 1 福生市環境基本計画実行計画（平成 27 年度実行計画進捗状況）について</p> <p>【事務局より説明（概要）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 環境基本計画推進のため、実行計画の確認調査を行った。 ○ 実施評価基準は 129 事業中 90.7%にあたる 117 事業が「実施できた」の A 評価。「概ね実施できた」の B 評価は 12 事業で 9.3%。 ○ 状況評価基準は、「順調に進んでいる」の①が 101 事業で 78.3%。「ほぼ順調」の②は 28 事業で 21.7%。評価一覧から 	

環境基本計画実行計画は概ね順調に進んでいると考えられる。

○ 環境基本計画実行計画 27 年度進捗状況については、新規事業とレベルアップ事業を中心に説明。

○ 中期実施計画の計画期間である平成 23 年度から 27 年度までの 5 年間の進捗状況を概要版で説明。

【質疑】

(委員)

新規事業の多摩川堤防沿桜樹木診断委託だが、多摩川の堤防は国交省の土地で、樹木の更新が難しいのではないかと。

(事務局)

一部を除き国交省の土地で、植え替え等は難しい状況であるため、診断をもとに長寿命化を図る。

(委員)

桜は人の寿命くらいと聞く。やがて更新の時期が来ると思うが、国交省と交渉はできるのか。

(事務局)

現状は、堤防を傷めないようにとの国交省の指摘により植え替えはできない。今回の樹木診断で、すべての桜のグループ分けをして、適正な措置をとり、延命化を図っていく。

(委員)

今の桜は福生市で植えたのか。

(事務局)

諸説あるが、市ではない。

(委員)

虫等が寄生している木は相当あると思われる。樹木医を頻繁に投入してはどうか。

(事務局)

今年度から計画的に行っていく。

(委員)

桜の寿命は 60 年と言われていて、いずれは花が咲かなくなる。老木になると中が傷んでいる木もあると思われる。いつ倒木してもおかしくない状況だ。迅速な対応が必要。維持管理をしっかりやっていただきたい。

(委員) ソメイヨシノの寿命は確かに 60 年と言われているが、100 年を過ぎても毎年花を咲かせる木もある。先入観にとらわれる必要はない。また、エドヒガンなど寿命の長い桜もある。植え替えの際、検討しては。

(会長)

貴重なアドバイスですね。ありがとうございます。

(委員)

5 ページ 79 番サイクルシェアリング事業です。市の昭島寄りの地域は、市役所への交通の足がまったくない。そういうところで利用できるようにならないか。

(事務局)

現在は、拝島駅北口にポートが一つある。その地区では、ここが拠点となっている。

(委員)

そこまで家から 20 分かかる。

(事務局)

公共施設の総合管理計画について、福生市でも策定中であるが、人口減少が進む中で公共施設の適正配置は考えなければならない。今後は、公共施設へのアクセスの足を考えていく。

(委員)

平成 27 年度の進捗状況が確認された後はどうなるのか。

(事務局)

庁議に諮り、その後、市のホームページで公表する。

(委員)

進捗状況のこれから先の見通しを入れることは、今後あり得るか。

(委員)

検討しているが、検討のその先はどうなっているのか、どういう見通しなのか、もう少し具体的な展望がほしいが、それは可能か。

(事務局)

目標に対して、これくらい進んでいるという何らかの表現はできると考える。

(委員)

評価はできているが、その先の展望は明るいのか、暗いのかとあれば、もっとわかりやすいのでは。

(事務局)

平成 28 年度計画の評価の際、今後の見通しについて表現できればと考える。

(会長)

見通し等について、表現できるものはうまい表現を考えていただくということをお願いしたい。

**議案 2 福生市環境基本計画実行計画（平成 28 年度実行計画）
について**

【事務局より説明（概要）】

- 第 2 期中期実施計画に基づいて作成した。
- 管理指標を新たに設け、意識化を図った。
- 可能な限り分野別に分け、進行管理をスリム化した。
- 協働事業については、★を記載し明確化を図った。
- 平成 28 年度実施予定事業 92 事業の内、新規事業の 4 事業を中心に説明。

【質疑】

(委員)

第 2 期中期実施計画の 12 ページ、CO₂ 排出量の実績だが、電気の排出係数は一定か。

(事務局)

そのとおり。

(委員)

一般家庭部分も一定か。

(事務局)

その年その年で係数が変わるため変動である。

(委員)

33 ページに目標値があるが、これは一定か。

(事務局)

その年度ごとの係数による。

(委員)

市の施設は一定か。

(事務局)

そのとおり。

(委員)

電力の自由化によりそれぞれの会社で排出係数が違うが、福生市の場合は、特定の事業者を推奨するようなことはできるか。

(事務局)

一般家庭の CO₂ 排出量が落ちない傾向があるので、家庭に向けた発信をしていこうと思うが、紹介する程度にとどまるだろう。

(事務局)

どの会社を選ぶのかという視点に対し、情報提供するようなことはできる。

(事務局)

電力自由化については、かんきょう通信にも一度掲載した経緯がある。また、家庭のCO₂削減に向けた普及活動として、市役所のロビーで市民にパンフレットを手渡ししながら啓発する取り組みを考えている。

(委員)

市民一人あたりのCO₂排出量が増加している要因は、一世帯あたりの人数が減っていることが大きな要因か。

(事務局)

高齢者だけの世帯が増加していることが大きな要因と考えている。

(委員)

自然環境は、そう簡単に成果が出るものではないので、短期間の成果に一喜一憂するのではなく、環境の力になってくれる人材の継続確保ができているか、何よりもたくさんの参加をいただいでやっていくことが大事。また、そういう状況を続けていくことが大切な評価と考える。

(事務局)

環境学習を支える人材の確保のため、工夫、掘り起こしに力を入れていく。

(委員)

水辺の楽校を卒業しても確実に人材は育っていると思われる。苦労して子ども達とやってきたことが実を結びつつある。

(委員)

水辺の楽校について広報で周知し、途絶えることなく続けていくことはよいことだ。

(会長)

水辺の楽校に参加した子どもたちがその後どうしているか。どのようにやっているのか。そういう事例を集められると参考になるのではないでしょうか。

(委員)

生き物の話があったが、ハクビシンを見かけなくなった。昔はよく見かけたが最近見なくなった。また、東日本大震災以降野鳥が見られなくなった。特に渡り鳥が見られなくなった。

(事務局)

ハクビシンの目撃情報は増えている。場所についても記録をとっている。

(委員)

	<p>表に管理指標を新たに設けたが。</p> <p>(事務局)</p> <p>第2期中期実施計画の管理指標を載せたものだ。</p> <p>(委員)</p> <p>見通しはどうかといったものも掲載したらどうか。</p> <p>(会長)</p> <p>表の中に反映できるものは、反映したらどうでしょうか。</p> <p>(委員)</p> <p>数値の達成は、かなり厳しいものもあると思われるが。</p> <p>(会長)</p> <p>具体的な数値が出ているので、なかなか厳しいところもあるが、達成に向け進めていってほしい。</p> <p>(事務局)</p> <p>状況評価で、わかりやすい表現にできればと考える。環境について、長期的視野で取り組んでいきたい。</p>
	<p>今後の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行計画は、本審議会の意見を踏まえ、庁議に付した後、市のホームページに掲載し、公表する。 ・「第2期中期実施計画」の策定が終わったことから、今年度の審議会は本日の会議のみとする。